

## 平成29年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」東北総合通信局長表彰

## 【学校部門】

(敬称略)

被表彰校	主な功績
あいづわかまつしりつひがしましやうがっこう <b>会津若松市立東山小学校</b> (校長 堺 良和)	情報モラル向上に向けて近隣の小中学校3校で地域学校保健委員会を立ち上げ、「心と体の健康づくり」をテーマとした啓発活動などの安心安全な利用に関わる顕著な活動に取り組まれるとともに、メディアコントロールに関する標語を全校生徒から募集し、審査及び表彰により意識を高めるなどにより優秀な作品を創作されました。  標語 「インターネット ふり回されるな 時間と情報」

## ○「情報通信の安心安全な利用のための標語」表彰

初心者を含む情報通信利用者が情報通信を安心・安全に利用するためのルールやマナー、情報セキュリティに関する意識や知識の重要性に気づき、考えるきっかけとすることを目的として、応募された標語の中から、東北管内の最優秀作品を東北総合通信局長が表彰するものです。

## 平成29年度東北電気通信協力会長表彰

## 【個人】

(敬称略:五十音順)

被表彰者	主な功績
おおこし りゆういち <b>大越 隆一</b> 福島県電波適正利用推進員協議会会長	福島県電波適正利用推進員協議会会長として、電波の適正な利用に関する知識の周知啓発等に取り組み、永年にわたり電波利用環境の保護に多大な貢献をされました。
かわい おさむ <b>川井 理</b> 地域放送計画	多年にわたり、コミュニティ放送のコンサルタントとして開局事業等に携わり、卓越した識見により、多くのコミュニティ放送局の技術支援等を行うなど、コミュニティ放送の健全な普及発展に多大な貢献をされました。
さかい のりゆき <b>酒井 紀之</b> 株式会社ソフトウェア開発 代表取締役社長	東日本大震災からの復興にあたり、地域情報化アドバイザーなどの知見を生かし、ICTを活用した復興事業の企画から事業実施まで、多くの被災自治体へ支援を行い、地域情報化に多大な貢献をされました。

## 【団体】

(敬称略)

被表彰団体	主な功績
岩手県岩泉町政策推進課 (課長 三浦 英二)	平成28年台風第10号において、甚大な被害を受けた放送中継局などへ向かう道路や共同受信施設の復旧など、放送・通信事業者などと連携し、被災者に対する情報伝達手段の確保に多大な貢献をされました。